



麻布幼稚園だより 9月号

平成30年9月1日 港区立麻布幼稚園 園長 大島 美知代

「いよいよ2学期！先の見通しをもって」

園長 大島 美知代

今日から2学期が始まりました。夏休みは健康に楽しくお過ごしのことと思います。しばらく会わないうちに園児たちの身長も伸び、一段と大きくなったように感じます。

夏季休業中に本園の増築工事がだいぶ進みました。

- ・園内で行われた電気、ガス、水道工事も終了し、職員室にも増築等につながる防犯体制の設備もできました。
- ・増築等本体も2階部分に進み、出来上がるのが楽しみとなってきました。(園舎が高くなり、残念ながら「東京タワー」がちょっと見えづらくなっています)
- ・2学期末には増築園舎前の園庭部分がほぼ完成することです。3学期になると「みんなの広場」(旧バツタ園)が今度は固定遊具設置し、砂場を造る工事に入ります。

このように工事の先の見通しが見えてきてウキウキした気分になりました。港区教育委員会の方々がこの増築工事のために力を尽くしてくださっていることを肌で感じ、感謝の気持ちでいっぱいです。

教育課程の上でも2学期は1年間で一番長い期間です。幼児、保護者同士も仲良くなり、大きな行事、PTA活動の取り組みもきっとスムーズに行われることと思います。園児たちは1学期の生活や遊びを元として、一段一段高みを目指して進ませていきます。

年長組は「運動会」や「作品展」という大きな行事に向けて日々の遊びや学級活動の経験を積み重ねていきます。そして他の教育機関との交流、地域の祭りへの取り組み等々、先の見通しをもって取り組んでいくことでしょう。

年中組、年少組は年長組の刺激を肌で感じながら良い刺激をもらって自分たちでできること、自分たちが興味をもつことに一人で、友達と、学級でと取り組んでいくことでしょう。

「先の見通しをもつ」ことは大切なことです。教職員も夏季休業中に2学期の遠足の実地踏査をしたり、不審者対応訓練を行ったり、園内の環境整備や地域の他園、他校との連絡をしたり、まずは「親子運動会」に向けて教材研究をしたり、と2学期の教育活動の進め方、一人一人の幼児の指導方針等、「先を予測し、見通して、準備を確実に進める」ことを行っていました。

PTA活動の中心となる「役員会」でも、1つ1つの活動について「来年度は保護者数が増えるので、どんな形でできるかしら」「〇〇活動をしてみたいけど、どこでやれるかな？人数も多くなるし…役割も分担しないと…」と「先を見通して」進めています。

子育ても同じですね。「先を見通して」今大切することを考えて子育てをしていきましょう。幼稚園もがんばります！